



みてみて 回覧

湖南公民館だより
No71 (公民館ホームページ)



令和6年3月19日(火)発行
郡山市湖南町福良字家老9390-4
電話・FAX 024-983-2543
発行責任者 館長 佐藤 忠男

郡山市明るいまちづくり推進運動 標語・川柳コンクール

＜小中学生の部＞ 佳作 出品ありがとうございました。

笑顔の花 咲き誇る町で 未来拓く	4年	阿部 由奈	さん
私たち 未来をひらく カギになる	6年	亀山 愛心	さん
ひとりひとりの違ったとびら あつめてひらいて これかれへ	7年	安藤 春	さん
心をね 開こうまずは ありのまま	7年	渡部 萌々果	さん
歌声で 未来へつなぐ 郡山	8年	桑名 そのみ	さん
その言葉 だれかの心を ひらくとき	9年	小椋 菜都姫	さん

＜一般の部＞ 佳作 出品ありがとうございました。

皆おいで ひらく門戸に はずむ声	矢内 勝子	さん
高砂の 思いを胸に 拓く道	古川 覚	さん
頑張っていれば かならず花ひらくときもあるもない	荒川 勝雄	さん
子のライン 何かとひらく 親心	渡邊 紀美子	さん
いにしへの 開拓精神 今ここに	古川 禮子	さん
まっている 両手ひらいて あなたがくるの	小山 富紀子	さん

湖南の民俗 二十三夜講

湖南の各地に「二十三夜講」と彫られた石碑が十六か所あります。これは、忌籠り（きこもり）の一種です。忌とは、心身を清浄に保ち、けがれを避けて慎むことです。忌籠りは、陰暦（旧暦）の二十三日にぼたもちを供え、酒宴を催して月の出を待って祭る講中です。月待ちに願いごとをすると叶うといわれ、多くは女性の講中です。月の満ち欠けや潮の満ち引きなどとともに、女性の生理やお産に関係があるので自然神信仰となりました。「さんにやさま」と言われ、ぼたもちを食べたり女性が集ったりすることも多く、神仏の名を借りて楽しみに集まっていたようです。石碑は、古いもので明和二年（1765年）の碑もあります。



(湖南民俗研究所)

二十三夜塔 舟津・鎬箭神社前

二十三夜塔 福良・栗生

公民館主催 青少年教室



土橋醇のアトリエ見学と絵画鑑賞

書き初め教室

バレンタインのお菓子作り

公民館主催 高齢者対象 明和学級

公民館主催 健康教室

公民館主催 スマホ体験講座



血圧・体力測定と運動

自宅でできるつぼマッサージ

スマホの基本とLINE

公民館主催 いっしょに遊ぶ子この指とまれ (1・2年生)



青少年育成指導員・ボランティア
連絡会の皆さんとたなばたかざり

ぐるっと湖南・伝承会の皆さん
と昔遊び体験

ボランティア連絡会の皆さん
といっしょにリズムあそび

青少協・公民館共催 野菜植え

青少協・公民館共催 HIP・HOPダンス教室

青少協・公民館共催 だんごさし体験



2年生の野菜作りをぐるっと
湖南伝承会の皆さんが支援

7・8年生がヒップ・ホップ
ダンスを体験

1・2年生がボランティア連
絡会の皆さんとだんごさし